



2019年10月31日

各 位

上場会社名 株式会社 タカギセイコー  
 代表者 代表取締役社長 高木 章裕  
 (コード番号 4242)  
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 林 延幸  
 (TEL 0766-24-5522)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年8月7日に公表しました2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想及び2019年5月13日に公表しました2020年3月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	24,020	790	700	160	58.89
今回修正予想(B)	24,080	960	850	320	117.64
増減額(B-A)	60	170	150	160	
増減率(%)	0.2	21.5	21.4	100.0	
(ご参考)前期第2四半期実績(2019年3月期第2四半期)	26,163	733	642	222	81.77

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	48,090	2,320	2,110	810	298.11
今回修正予想(B)	47,600	2,270	2,070	900	330.86
増減額(B-A)	△490	△50	△40	90	
増減率(%)	△1.0	△2.2	△1.9	11.1	
(ご参考)前期実績(2019年3月期)	53,469	2,268	2,116	1,008	371.00

### 修正の理由

当第2四半期連結累計期間の売上高は、概ね前回発表数値通りに推移する見通しではありますが、損益面では、下期に売上を予定していた案件の計上及び総原価低減の効果等により、営業利益は前回発表の790百万円を21.5%上回る960百万円、経常利益は前回発表の700百万円を21.4%上回る850百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回発表の160百万円を100.0%上回る320百万円の見通しとなりました。

また、通期の売上高につきましては、海外におけるOA(その他)分野の受注の増加を見込むものの国内のOA(その他)分野や海外における車両分野の受注の減少及び邦貨換算の減収影響等により、前回発表の48,090百万円を1.0%下回る47,600百万円の見通しとなりました。

損益面は、第2四半期連結累計期間の業績見込と下期の製品構成の変動及び邦貨換算の減益影響等を見込み、営業利益は前回発表の2,320百万円を2.2%下回る2,270百万円、経常利益は前回発表の2,110百万円を1.9%下回る2,070百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表の810百万円を11.1%上回る900百万円の見通しとなりました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上